

こおろぎ

発行日 2004年6月1日 No.135
発行元 株式会社
オリジン・コーポレーション
代表取締役：杉井保之
〒426-0044 静岡県藤枝市大東町777-1
TEL 054-636-4300 FAX 054-636-6187
E-mail origin@ck.tnc.ne.jp
URL <http://www.origin-co.com>

皆さん、ありがとう！

「不完全なあなたへ」の出版祝いを120名の方にしていただき、平成16年6月3日は私にとって一生忘れられない日になりました。

推薦の言葉を書いてくださった鍵山相談役や、「こおろぎ」の文字を書いてくださっている落合先生、CL(建設的な生き方)のD.K.レイノルズ博士などのご祝辞に続き、これまで「こおろぎ」で紹介させていただいた方々から、ご祝辞をいただきました。

最初に登壇した馬淵君は、男らしく良い顔になっていて、「楽な道と、苦しい道があったら、私は苦しいほうの道を選びます」と語ってくれました。彼は無免許運転の車にはねられ、歩くこと、持つことがままならない身体ですが、始業時間の一時間以上前から働いて、正社員となった青年です。彼の堂々とした言葉は、参加者の胸に強く響いたことと思います。

その後は、数年間、自宅にひきこもっていたことのある青年や、精神障害を負いながら、懸命に働いて施設に預けている子どもを引き取りとう頑張っている女性が祝辞をくださいました。

会場にいた誰もが、その飾らない、懸命に生きる姿に感動して、謙虚になった気がしました。その彼女からのお便りを紹介します。

「不完全なあなたへ」の出版記念パーティーに招待していただき、ありがとうございます。
私は今まで、自分自身の生活を惨めとか、哀れとマイナスに考えることが多く、人に自分のことを隠したい一心でした。
それがパーティーで自分のことを話すことになり、不安もありましたが、勇気を出して皆さんに自分のことをお話ししたら、胸のうかがスッキリしました。
世の中には、私のことを認めてくれる人もいます。応援してくれる人もいます。子どもたちのために頑張ろうと、勇気が湧きました。パーティーに出席でき、皆さんにお会い出来て、本当に嬉しく思っています。本当にありがとうございます。これからも、親子ともどもよろしくお祈りします。
飯田由美

今、障害を負った人を雇用してくれる会社は少なく、体調の加減もあって彼女の収入は健常者の半分ほどしかありません。ですから子どもさんを施設から引き取って一緒に暮らすことは、本当に大変なことなのです。

実は、この会にお誘いすることも、迷惑になるのではないかと迷って、「ご招待」という形で声をかけさせていただいたのですが、私たちが知らない間に、そっとうご祝儀を届けてくれていたのです。何とありがたく、もったいないことでしょう。

私は、こうした気持ちを、とてもやさしく、美しく感じました。そんな人だからこそ、手を差し伸べたくはないのでしょうか？

アメリカには、「1%クラブ」という会があります。その会は、自分の収入の1%を寄付したり、人のために使おうという会です。私は、日本にもそんな人の輪が広がったらいいなと思っています。人の幸せを願えるとき、その人は幸せだと思うからです。

私に、人を大切に思えることが、幸せなことだと教えてくれたのは、「こおろぎ」の読者の皆さんです。本当にありがとうございます。

あなたもサンタに

私は15年以上、良い仲間たちと経営の勉強会を行ってきました。みんなで同じ内容を学ぶのですが、同じように人生が拓け、同じ成果が出るかという決してそうではありません。こうした差は、何から起こるのかを考えてきて、分かったことがいくつかありましたので、皆さんに報告します。

その第一は「努力の方向」です。

皆さん、自分の会社や人生を良くしたいと思って勉強会に参加しているのですから、当然、「自分が学ぶこと(得ること)」に意識がいきます。しかし、ここに落とし穴があると私は思うのです。

私がかもし誰かに「人生を良くする秘訣を一つ挙げてください」と尋ねられたら、「人を喜ばせること」と答えます。つまり「与えること」です。

ですから、「相手を喜ばせること(与えること)」を学ぶべきなのに、意欲がある人ほど自分の会社が儲かること、自分が得ることに意識が向かってしまい、一見、損に思える「与えること」を学べないようなのです。

今回、出版記念に参加していただいた皆さんに、「不完全なあなたへ」を二冊ずつお持ち帰りいただいたのは、二冊のうち一冊は自分の大切な人にプレゼントしてほしいと思ったからです。

私の考えが間違っていなければ、自分が本をもらったときより、人にプレゼントしたときのほうが、やさしく、幸せな気持ちになれると思うのです。

私は、人は良い人生を生きるため、幸せになるために生きていると思います。せっかくなら一日働いて、何も積み上げられていなかったら、いつか空しくなってしまうのではないのでしょうか？

皆さんは、今日、誰をどんなことで喜ばせますか？

私の会社の目的の一つは、社員さんが幸せになることです。ですから、朝のミーティングでスケジュールを確認する際に、その仕事を通じて、どうやって人を喜ばせようと思っているかも発表してもらうようにしています。

どうせ今日を生きるのなら、幸せに一步近づく一日にしたいものです。あなたも今日、「プチ・サンタ」になってみませんか？

今なら、年会費無料！ 登録不要です。

「不完全なあなたへ」を読んで、とてもやさしい気持ちになりました。いつの間にか忘れていた気持ちを思い出した気がします。普段、本を読まない主人もこの本は読んでいます。こんな時間が持てて、とてもうれしく思っています。
子どもは中学生になりましたが、私も「プチ・サンタ」になりたいと思い、ご無沙汰している友達に一冊贈ろうと思います。良い本をありがとうございました。

この度は出版記念パーティーにお呼びいただき、ありがとうございます。今回参加して、参加者のプロフィールとネーム・カードに、一人ひとり宛の文章が用意されているのを見て、その心配りに感動しました。そして、社員の皆様から杉井さんへ手作りの日めくりを手渡されたときは、すごく感激しました。どうか月めくりと間違えて破らないように気をつけてください。(我が家で実際に事件がありました！)これからも「活躍を期待しています。日本の「食」を背負う男(?)より